

1 年	国語	おはなしかいをしよう「うみへのながいたび」	児童 2 名	2 年	国語	しゃしんをつかってせつめいしよう「さけが大きくなるまで」	児童 2 名
-----	----	-----------------------	--------	-----	----	------------------------------	--------

指導者 ○○ ○○

1.教科の見方・考え方，学年及び単元の目標・評価規準（第 1 学年）

見考	児童が学習の中で，対象と言葉，言葉と言葉との関係を，言葉の意味，働き，使い方等に着目して捉えたり 問い直したりして，言葉への自覚を高めること		
学年の目標	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力，人間性等
	日常生活に必要な国語の知識技能を身につけるとともに，我が国の言語文化に親しんだり，理解したりすることができるようにする。	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えをもつことができるようにする。	言葉がもつよさを感じるとともに，楽しんで読書をし，国語を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
単元の目標	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる	写真と文章をもとに，しろくまの親子の様子や会話文を具体的に想像しながら読むことができる。（読むこと）	進んで場面の様子に着目して登場人物の行動や会話を想像し，見通しをもって考えた言葉を発表しようとしている。
	評価 1	評価 2	評価 3

2.活動構成(児童の実態)

【学級の様子】～省略

【単元について】

本単元は，写真と文章を手がかりに，場面の様子と登場人物の様子を想像し，それを発表しあうという言語活動を連続させることで，「場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像する」学習を行う単元である。

教材文「うみへのながいたび」は，白くまの生態を伝える写真を見ながら（）や「」でくくられて表現された内言や会話表現を音読することで，白くまの様子や気持ちが想像しやすくなっている。

児童は今まで，「大きなかぶ」や「けんかした山」で，挿絵と文章を手がかりに，登場人物の気持ちや会話を想像する学習を意欲的に行ってきた。しかし，根拠などを文章から探す学習は，十分ではない。

本単元においては，写真や教材文から時間的な順序をおってあらすじを捉えさせながら，本文から根拠を探して，白くまや場面の様子についての想像を広げさせ，白くまになったつもりで想像した会話を相手に伝えるように発表することで，読む力をつけさせ，表現活動への意欲を高めさせていきたい。

単元計画 本時（6／1 0）

【第 1 次】単元の見通しを持つ（1 時） ① リード文，題名から何をどのように学習するかを考え，学習の計画を立てる。 おはなしかいをしよう ○場面の様子を想像すること ○白くまの会話を想像すること ○お話をすること 評価 3 発言 ノート
【第 2 次】白くまの様子を考えながら読む（2 ～ 8 時） ② ③④⑤⑥【本時】⑦⑧ ○写真と本文を手がかりに，白くまの様子，場面の様子 白くまの気持ちを想像する。 ○根拠を探して白くまの会話を想像する。 評価 1 音読 評価 2 観察 ノート 評価 3 観察
【第 3 次】おはなしかいをひらこう（9 ～ 1 0 時） ⑨「てびき」「ここがだいじ」をおさえる。 白くまの会話を入れて，場面の様子を説明するおはなし会を行う準備をする ⑩おはなし会を行う。 評価 2 発表 評価 3 感想発表

1. 教科の見方・考え方，学年及び単元の目標と評価規準（第 2 学年）

児童が学習の中で，対象と言葉，言葉と言葉との関係を，言葉の意味，働き，使い方等に着目して捉えたり 問い直したりして，言葉への自覚を高めること		
知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力，人間性等
日常生活に必要な国語の知識技能を身につけるとともに，我が国の言語文化に親しんだり，理解したりすることができるようにする。	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えをもつことができるようにする。	言葉がもつよさを感じるとともに，楽しんで読書をし，国語を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
言葉には，事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。	季節や場所，さけの様子など，情報を時系列で捉える手がかりになる言葉に気をつけながら読むことができる。（読むこと）	積極的に文章の中の重要な語や文を考えて選び出し，学習課題に沿ってさけが大きくなる様子を説明しようとしている。
評価 1	評価 2	評価 3

2.活動構成(児童の実態)

【学級の様子】～省略

単元計画 本時(8／1 1)

【第 1 次】単元の見通しをもつ（1 時） ①題名，リード文，問いから何をどのように学習するかを考え，学習の計画を立てる。 しゃしんをつかってせつめいしよう ○問題を受けて何を学習するかをつかむこと ○さけの変化を時間的な順序を確かめながら捉えること ○相手に応じて話す事柄を順序だてて説明すること 評価 2 発言 ノート
【第 2 次】さけが大きくなる様子を時や場所を表す言葉に気をつけてカードにまとめる。（2 ～ 7 時） ②③④⑤⑥⑦ ○時，場所，大きさ，期間を確かめながら，成長の様子をカードにまとめる。 ○写真はどのような場面を表しているのかを確かめる。 評価 1 ノート 評価 2 観察 ノート 評価 3 観察
【第 3 次】写真をもとに説明する（8 ～ 1 1 時） ⑧【本時】さけの一生について説明する内容を考える ⑨付け足すことを考えて説明する。 ⑩どの時点からでも説明できるように考え説明する。 ⑪言葉についての学習を行う。 評価 3 発表

3.本時案(第2学年8/11)

本時の目標

- ・写真をもとに順序が分かるように、さけの成長を説明する内容を考えることができる。

展開		学習活動(○)と子どもの姿		教師の支援(☆)と評価(◇)		直■・間■		学習活動(○)と子どもの姿		教師の支援(☆)と評価(◇)		展開	
課題把握	課題設定(3)	○学習計画を元に本時の課題を考える。 ○課題をノートに書く。 うみについたかあさんぐまと子ぐまのことばをそうぞうしてふきだしにかく。		☆写真①②の提示 ・かあさんぐまの鼻と耳に着目させる。	■ 								

11/14 (木) P.41

さけのせい長のようすをせ
つ明できるようにメモを書
く。

① まめとかたいを話し合う。
② かたいをノートに書く
③ 音読はね(全)
④ しやしんをじゅん番に
ならべる
⑤ ワークシートを書く
⑥ 話し合う

3

2

1

6

5

4

11/14 (木) P.34

うみについたかあさん
ぐまと子ぐまのことは
をふきだしにかく。

① かたいをノートにかく
② こうたいで おんどく
③ しやしんをはる
④ 「なにをしてるか」わかるように
せんをひく
⑤ はなしあう
⑥ きもちがわかるように
なかせんをひく
⑦ ふきだしをかく
⑧ はなしあう

「うん。」

なつかしい
なみの音を
きいている。
しおかせの
においを
かいでいる。

うみのひろやに
目をみはうける
大きくなすい
ている。

「ここがうみだよ。
おまえたちがこれから
ぐらすところ。しっかりおは
ぎをおぼえるんだ。それから、
えさとりをね。」